

# 環境活動への取組み

日立電線は企業基本理念・行動指針・行動基準実施要領からなる企業行動基準を策定し事業活動を行ってきました。その後、事業活動を行う上で地球環境保護が重要であるとの認識から1993年に環境保護行動指針を策定しました。環境保護行動指針に基づき環境行動計画を策定して環境保護活動を推進しています。

## 日立電線がめざす環境経営

日立電線はこれまで優れた技術・製品の開発を通じて社会に貢献することを基本理念としてきました。それはまた環境保護の側面からみた場合、工場での生産活動による環境負荷やお客様に提供する製品・サービスから発生する環境負荷など事業活動から発生する環境負荷を低減する努力を続けること、また電線に使用しているプラス

チック類など原材料のリサイクル技術を活用して循環型社会形成に貢献することや環境保護ボランティア活動に参画して社会貢献をすること、そして常に適切な管理と経営層への報告・定期的な情報開示を行うことであり、環境との調和を経営の最優先課題の一つとして取組むことが環境経営であると日立電線は考えています。

## 日立電線企業行動基準

### 基本理念

日立電線は、“和”“誠”“開拓者精神”という日立創業の精神を受け継ぎ、これらをさらに高揚させ、優れた自主技術・製品の開発を通じて社会に貢献することを基本理念とする。

併せて、当社は、企業が社会の一員であることを深く認識し、公正かつ透明な企業行動に徹するとともに、環境との調和、積極的な社会貢献活動を通じ、良識ある市民として真に豊かな社会の実現に尽力する。

## 環境保護行動指針

本指針は、「日立電線企業行動基準」の基本理念を体し、当社の事業活動にかかわる環境問題への取組みに対する行動の基準を示すものである。(1993年3月制定)

- 1 地球環境問題は人類共通の重要課題との認識のもとに、環境との調和を経営の最優先課題の一つとして、全社をあげて取り組む。
- 2 環境問題を担当する役員及び部署は、環境保護推進体制の整備、環境関連規定の整備、負荷削減目標の設定などにより環境保護活動の推進・徹底を図る。また、環境監査により活動を確認して維持向上に努める。
- 3 地球環境問題解決に関するニーズを的確に把握し、これに対応する高度で信頼性の高い技術及び製品を開発することにより社会に貢献するよう努める。
- 4 製品の研究開発・設計の段階から生産、流通、使用、廃棄などの各段階における負荷を低減するよう配慮する。
- 5 事業活動によって生じる環境への影響を調査・検討し、環境負荷を低減するよう安全性、省エネルギー、省資源等に優れた技術・資源の導入を図る。
- 6 国際的環境規制並びに国、地方自治体などの環境規制を遵守するとともに、必要に応じて自主基準を策定して環境保全に努める。
- 7 海外事業活動及び製品輸出に際しては、現地の環境に与える影響に配慮し、現地社会の要請に応えられる対策を実施するよう努める。
- 8 従業員の環境への意識向上を図るとともに、広く社会に目を向け、幅広い観点からの環境保護活動により社会に貢献する。
- 9 万一、事業活動によって環境問題が生じた場合は、環境負荷を最小化するよう適切な措置を講ずる。